

地方分権改革の旗手会議（令和4年度第1回）の概要

【日 時】 令和4年8月30日（火）13:30~14:30

【開催方法】 リモート開催（Zoom、Webex）

【参加者】 旗手交流会：42名

※ 全体会議は、YouTubeの動画を視聴

（【期間】 令和4年8月23日（火）～29日（月））

旗手会議は、全体講義（地方自治体による事例紹介）と交流を目的とした旗手交流会の2部構成としている。

全体会議はYouTubeを活用して時間を気にせずに視聴できるようにした。また旗手交流会は、旗手と内閣府職員（地方支援班、調査員）とで活発な意見交換を行うことができた。

○地方自治体からの事例紹介

独自の取組を行っている地方自治体から、提案の募集方法や提案募集方式の周知の取組について紹介いただきました。（長崎県、神奈川県、新潟県、神奈川県茅ヶ崎市、兵庫県）



【加藤室長 あいさつ】



【新潟県の事例紹介例】

【参加者の声】

- 提案募集制度の理解促進のための取組みについて、実際に庁内部局向けに提示している資料を紹介しながら説明していただいている点が大変参考となりました。
- 視聴時間の調整が可能で参加しやすいことから、今後も旗手交流会までに視聴するという条件付きでWEB配信での対応を検討していただきたい。また、聞き逃した部分や理解出来なかった部分を繰り返し視聴できて良かった。
- 担当1年目の方にとっては、他団体の取組事例を聞ける機会は貴重なため、今後も継続していただきたい。

○旗手交流会（60分間）5グループで意見交換を実施。

【テーマ】 提案の集め方、アイデアの掘り起こし方（苦労していること、取り組んでいること）について

主な発言

（提案の集め方、課題など）

- 提案募集にあたり、業務に不都合があるのではないかと予想した部署に足を運んで話を伺っている。予想は外れたが、自らが動くことによって予想とは別の提案が見つかった。自分が積極的に動くことが重要と感じた。
- 提案に対するハードルが高いと感じている者が多いことから、手書きのネコのイラスト（4コマ漫画）を使った周知方法は、いい意味でゆるくて参考になった。
- 共同提案についての詳しい説明資料がない。ハンドブックや事例集等に、共同提案の詳細を記載してもいいのではないか。

旗手交流会の様子

